

9月9日は「救急の日」です

本当に必要とする人が安心して治療を受けられるように

もしもの時の救急医療

安心して救急医療を受診できるよう、救急車や救急医療機関の利用方法について正しい理解と認識を持ち、上手に利用しましょう。

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用は無料、申込不要（定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ）。HPはホームページ、Eメールアドレス、地区市民センター、出張所、生涯学習センター、参りのみや表参道スクエア、地域コミュニティセンター、活市民活動センター、申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。

1 救急車を利用するのはこんなとき

ページ番号 1003318



- 呼びかけても返事がない(意識がない)
- 呼吸が苦しい、顔が真っ青、息をしていないようだ
- けいれんが続いている
- 急にろれつが回らなくなった、手足の動きが悪くなった
- 車に跳ね飛ばされた
- 高いところから転落し大きなけがをした
- 大出血している
- 急に激しい頭痛・胸痛・腹痛がある など

2 通報は慌てず正確に

ページ番号 1008120



119番にかけたときには、次のことを伝えてください。

- ①「救急です」
- ②住所・目標になるものを明確に（携帯電話の場合は必ず市町名から）
- ③誰がどのような状態か（呼び掛けたときの反応や意識の状態など）
- ④通報している人の名前と電話番号

3 AEDを設置しています

ページ番号 1004606



AED（自動体外式除細動器）は、公共施設・駅・デパート・スポーツ施設など、人が多く集まる施設を中心に設置が広まっています。

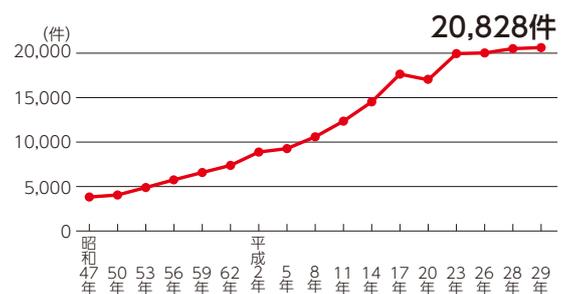
市HPでは、市内の公共施設・民間施設の設置場所や利用可能な時間などの情報が確認できます。

現状 救急医療の

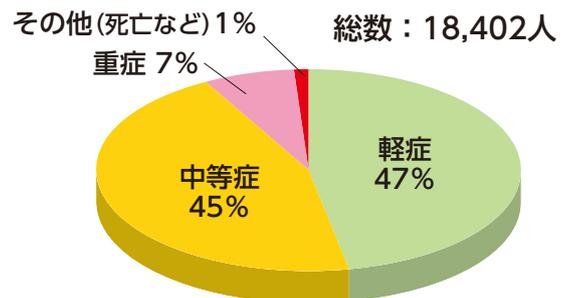
■増加する救急車の出動件数 平成29年の救急車の出動件数は、約2万件。平成8年の約1万件に比べ、この20年ほどの間で、約2倍に増えていきます(右のグラフ①)。この背景には、高齢化による搬送件数の増加の一方で、安易な救急車の利用も指摘されています(右のグラフ②)。

■夜間・休日の受診増加 夜間休日救急診療所は、「夜間の方がすいている」、「昼間は仕事がある」などの理由で受診する人が増えています。

①救急車の出動件数 (本市 平成29年)



②傷病程度別の搬送人員割合 (本市 平成29年)



■「かかりつけ医」を持つ かかりつけ医とは、病気になった時の初期の医療や日ごろの健康に不安を感じた時に相談できる身近な診療所の医師のことです。体の不調を感じた時は、早めにかかりつけ医に相談し、適切なアドバイスを受けてください。

■救急医療を本当に必要とする人が治療を受けるため 私たちにできる4つのこと

◎火事などの災害情報は消防出動情報で 消防出動情報は、電話や携帯サイトでお知らせしています。119番は火事や救急などの緊急通報用電話番号です。適正利用にご協力ください。なお、停電時には使えない電話があるので、携帯電話や公衆電話から119番通報をお願いします。災害情報テレホンサービス(自動音声) ☎(624)2441、携帯サイト📄 <http://utsunomiya.mwjp.jp/mobile/?page=119>へ。📞消防局通信指令課☎(625)5599

市救急医療体制

救急患者

救急医療機関は、軽症患者（初期救急）、入院治療を必要とする重症等患者（二次救急）、命に関わる重篤患者（三次救急）の3段階に分けられています。症状に合わせて、①～③を適正に利用しましょう。



とちぎ子ども救急電話相談

急な病気やけがで心配なとき、家庭での対処法を看護師がアドバイス

相談時間

月～土曜日 午後6時～翌日午前8時
日曜日・祝休日 24時間

電話

#8000 携帯電話やプッシュ回線以外の場合
は☎(600)0099

とちぎ救急医療電話相談

急な病気やけがに関する救急車要請の要否などを看護師がアドバイス

相談時間

毎日午後6時～10時

電話

#7111 携帯電話やプッシュ回線以外の場合
は☎(623)3344

特集
③

重症等患者 二次救急医療機関(入院治療)

- 病院群輪番制病院 曜日により、当番制で救急車を受け入れる病院。
▽済生会宇都宮病院▽NHO栃木医療センター▽JCHOうつのみや病院▽宇都宮記念病院▽NHO宇都宮病院
- その他の救急告示医療機関 11医療機関（平成30年8月現在）

転送

重篤患者 三次救急医療機関(高度医療)

- 県救命救急センター（済生会宇都宮病院内）心筋梗塞や脳卒中、頭部外傷など、重篤救急患者に専門的な治療ができる病院

軽症患者 初期救急医療機関(外来診療)

●夜間休日救急診療所

住所 竹林町968 電話 ☎(625)2211

	夜間(毎日)	昼間(日曜日・祝休日)
診療科目	内科・小児科	内科・小児科・歯科
診療時間	午後7時30分～翌日午前7時	午後7時30分～午前0時 午前9時～午後5時

- ▽健康保険証・子ども医療費受給資格者証(中学生以下)をお持ちください。
- ▽診療終了時間30分前までの受け付けにご協力ください。
- ▽昼間(日曜日・祝休日)の正午～午後1時は休憩時間となります。30分前までの受け付けにご協力ください。
- ▽症状の重い場合でも診療時間内であれば対応可能です。なお診療の結果、重症の場合は二次救急の医療機関を紹介します。
- ▽携帯電話から、診療待ち人数を確認できます(48ページ参照)。

チェック 1 ご活用ください 救急受診の手引き

ページ番号
1004350

救急受診の手引きでは、救急医療や救急車を上手に利用していただけるよう、普段から心掛けておくことや、夜間・休日に子どもが急な病気やけがをした時に、どのような対応をするのかを分かりやすく解説しています。保健所(竹林町)などに置いてある他、市HPからも閲覧できますので、ご活用ください。

チェック 2 救急の日・救急イベント2018

ページ番号
1016486

- ▽日時 9月8日(土)午後1時30分～2時30分。
- ▽会場 FKD宇都宮店(今泉町)。
- ▽内容 鯨井大さん(済生会宇都宮病院医師)・柿沼章さん(サイクルスポーツマネジメント社長)・市救急隊員による、スポーツ時のケガ・急病への救急処置についてのトークショーやAED使用法などの救命処置の実演。

2 夜間・休日の受診は避ける 救急外来は便利な時間外の医療機関ではありません。救急時以外の受診は避けましょう。

救急医療は緊急時に備えるためのもので、本来の診療時間とは異なり少人数の診療体制となっているため、専門的な診療が受けられないことが多くあります。より充実した診療を受けるためには、昼間の診療時間にかかりつけ医などで受診することが一番です。

3 夜間・休日の急な病気は、まず夜間休日救急診療所へ 比較的軽症が軽い場合は、まず「夜間休日救急診療所」を受診してください。なお、夜間休日救急診療所では、薬は原則1日分に限り処方されるなど、応急的な処置に限られていますので、翌日にはかかりつけ医を受診しましょう。

4 救急車を適切に利用する 救急搬送される人の約半数は、入院を必要としませんが、入院が必要になるほどの症状かどうかを判断するのは難しいことですが、「救急車を利用すればすぐに病院に行ける」などの安易な救急車の利用はやめましょう。

◎この特集についての問い合わせは、保健所総務課☎(626)1103へ。

ページ番号
1004353